

CM7550TN

告知放送受信端末

取扱説明書

- このたびは、告知放送受信端末をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに、必ず保管してください。

輸出する際のご注意

本製品は、外国為替および外国貿易管理法の規定により、戦略物資輸出規制品に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請など、必要な手続きをお取りください。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。このような場合には当該機を本装置と離してご使用願います。

ご注意



- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは‘法律’で禁止されています。
- ② 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、センター事業局にご連絡ください。
- ④ 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、③項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ⑤ 許可なく、改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
- ⑥ 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- ⑦ 本装置は本説明書に記載されている用途および使用条件（使用方法・運用方法、注意事項など）を守ってご使用下さい。もしも、指定した以外の用途や使用条件で使用した場合、当社ではいかなる責任も負いかねます。

もくじ




安全にお使いいただくために		
絵表示について	-----	2
警告 異常や故障のとき	-----	3
設置されるとき	-----	3
ご使用になるとき	-----	4
注意 設置されるとき	-----	5
ご使用になるとき	-----	6
1章 概要	-----	7
2章 お願い	-----	7
3章 箱の中身を確認してください	-----	8
4章 各部のなまえとはたらき（前面）	-----	9
5章 各部のなまえとはたらき（右側面）	-----	10
6章 各部のなまえとはたらき（背面）	-----	11
7章 接続方法について	-----	12
8章 ランプ表示について	-----	14
9章 告知放送留守録操作について	-----	21
10章 その他の告知機能について（オプション）	-----	22
11章 設置について	-----	23
12章 故障と思われる前に	-----	26
仕様	-----	30

安全にお使いいただくために

この説明書では、ご使用になる方や他人への危害と財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、正しくお使いください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプタをコンセントから抜く）が描かれています。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

異常や故障のとき

- ◆ 万一、煙がでている・変な臭いや音がするなど異常が発生したときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。センター事業局にご相談ください。



- ◆ 内部に液体や異物が入ったときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・火傷の原因となります。センター事業局にご相談ください。



- ◆ 本体およびACアダプタは分解や改造・修理をしないでください。火災や感電、けがの原因になります。点検・修理はセンター事業局にご相談ください。



- ◆ 落下等により本体およびACアダプタに衝撃を与えたときや筐体を破損したときは、そのまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。必ず、ACアダプタを電源コンセントから抜き、センター事業局にご相談ください。



⚠ 警告

設置されるとき











- ◆ 風呂場や台所等、水のかかるおそれのある場所には置かないでください。本体およびACアダプタは防水構造になっていませんので、火災・感電の原因となります。万一、水に濡れてしまったときは、センター事業局にご相談ください。





- ◆ 本体の上に熱に弱い物・水の入った容器・重いものを置かないでください。倒れて水が中に入ると、火災・感電の原因となります。また、物が置かれて倒れたとき、あるいは落下したとき、けがの原因となります。



安全にお使いいただくために

 警告	ご使用になるとき
◆布等をかぶせて通気孔をふさいで 사용하지 しないでください。 本体内部に熱がこもり、火災・火傷の原因となります。	
◆風通しの悪い・狭いところで 사용하지 しないでください。 本体内部に熱がこもり、火災・火傷の原因となります。	
◆雷が鳴り出したときは、本体、ACアダプタ、電話とのモジュラーケーブル、PC/WAN側のLANケーブル等に絶対に触れないでください。 感電の原因となります。	
◆付属のACアダプタは100V電源コンセントに接続してください。 電源は指定された電圧をお使いください。指定外の電源を使用しますと、火災・漏電の原因となります。	
◆付属のACアダプタ以外は 사용하지 しないでください。 付属のACアダプタ以外を使用すると、火災やけがの原因となります。	
◆付属のACアダプタを他の機器に 사용하지 しないでください。 他の機器に付属のACアダプタを使用すると、火災やけがの原因となります。	
◆付属のACアダプタは濡れた手で扱わないでください。 ACアダプタの電源プラグを抜き差しするときは、乾いた手でプラグ部を持って行ってください。濡れた手で行うと、感電の原因となります。	
◆お手入れの際にはACアダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。 本体およびACアダプタのお手入れを行うときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。電源コンセントに挿入したままですと、感電の原因となります。	
◆通気孔や背面コネクタ類に異物を差し込まないでください。 火災・故障・感電の原因となります。	

安全にお使いいただくために

⚠ 注意	設置されるとき
◆ 温度の高い場所に置かないでください。 車の中やストーブに近い場所、日の当たる場所など、高温になる場所等に置くと、火災・故障の原因となります。	
◆ 湿気・ほこりの多い場所に置かないでください。 加湿器に近い場所やほこりの多い場所等に置くと、火災・故障の原因となります。	
◆ 設置場所を移動する場合は、センター事業局にご相談ください。 故障の原因となる場合があります。	
◆ 本体を縦向きに置いたり、他の機器の上に置いたりしないでください。また、本体の上には多機能電話機等の電源を有する機器を置かないでください。 本体を縦置きにしますと、故障の原因となる場合があります。また、他の機器の発熱により本体の内部の温度が上がり、故障の原因となる場合があります。	
◆ ACアダプタの上に物を載せたり、布等をかぶせたり等しないでください。 火災・故障のおそれがあります。	
◆ 傾いた所やグラつく台の上など、不安定な場所には、置かないでください。 本体が落ちて、けがや故障の原因になります。水平で安定したところに設置してください。壁掛け使用時には、落下等しないように堅固に取り付けてください。 また、ベニヤ板などの薄い板壁・ボード板（石膏板）に直接取り付けると、落下したとき、けがの原因になります。	
◆ ACアダプタの電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せないでください。 電源コードが傷つき、火災・故障の恐れがあります。	
◆ 本装置はプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには容易にアクセスできなければなりません。	

安全にお使いいただくために

注意

ご使用になるとき

- ◆ ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。
ACアダプタが傷つき、火災・故障のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。



- ◆ 長期間ご使用にならないときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
万一の場合に、火災・故障のおそれがあります。



1章 概要

告知放送受信端末は一般家庭に設置され、FTTH等のブロードバンド環境下での告知放送の受信／留守録再生、IP電話／FAX、および高速インターネット（データ系通信）が可能な端末装置です。

2章 お願い

本装置の取扱い

ご使用中は告知放送受信端末に、強い振動・衝撃を与えないようにしてください。
振動・衝撃を与えますと、放送／通話ができなくなることがあります。

本装置の移動

模様替えや引っ越しなどで設置場所を移動するときは、必ず事前にご加入のセンター事業局にご連絡ください。

日常のお手入れ

ケースの汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときには、ACアダプタを電源コンセントから抜き、
水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、
よくしぼってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

本装置の廃棄方法

本装置を廃棄するときには、必ずセンター事業局にご連絡ください。

3章 箱の中身を確認してください

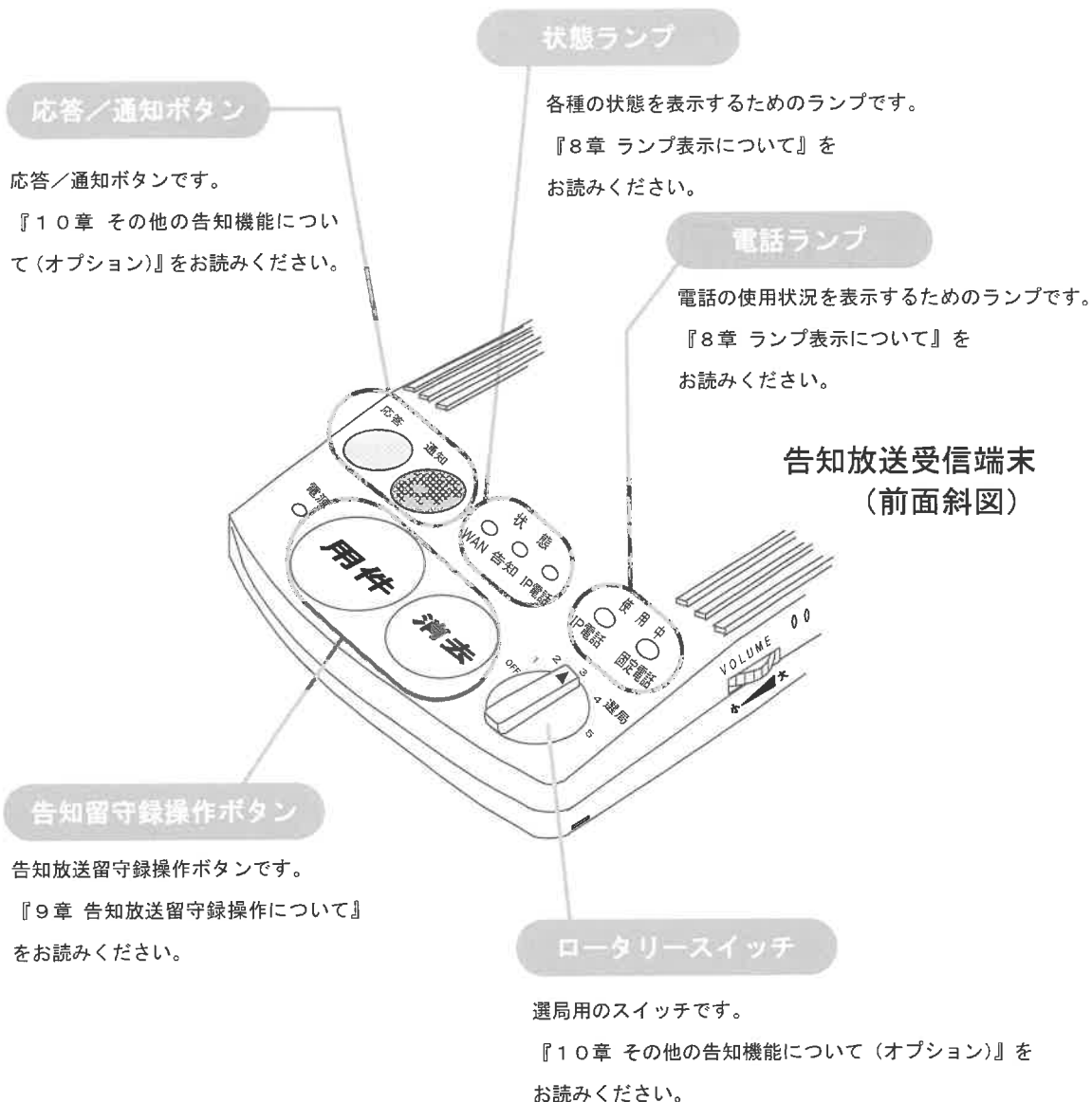
梱包箱を開けたら、まず品物8点が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。

万一、品物が不足している場合や破損している場合は、すぐにセンター事業局にお申し出てください。

- | | |
|---|----------|
| <input type="checkbox"/> 告知放送受信端末本体 | 1台 |
| <input type="checkbox"/> ACアダプタ | 1台 |
| <input type="checkbox"/> モジュラーケーブル | 1本 |
| <input type="checkbox"/> LANケーブル（ストレート） | 1本 |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） | 1部 |
| <input type="checkbox"/> ケーブルクランプ | 2個 |
| <input type="checkbox"/> ケーブルクランプ止め用ネジ | 1セット（2本） |
| <input type="checkbox"/> 壁掛け取付け用ネジ | 1セット（3本） |

4章 各部のなまえとはたらき（前面）

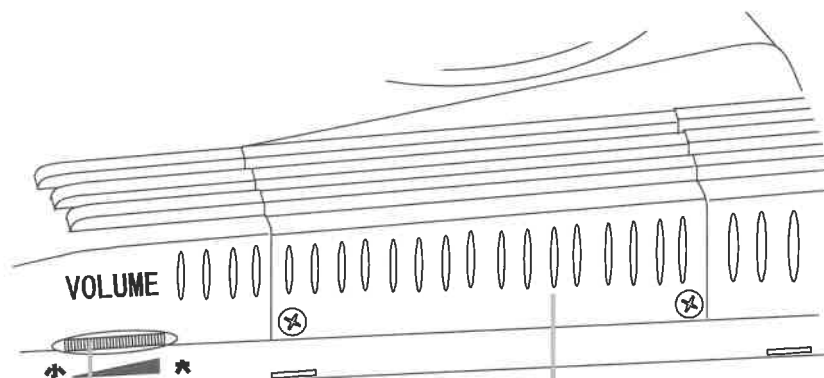
ここでは、告知放送受信端末の前面の各部のなまえとはたらきを説明しています。
各部の詳細機能につきましては8章以降をお読みください。



5章 各部のなまえとはたらき（右側面）

ここでは、告知放送受信端末の右側面の各部のなまえとはたらきを説明しています。

告知放送受信端末 （右側面図）



音量ボリューム

内部／外部スピーカー調整用ボリュームです。

⚠ 緊急放送の場合には、ボリュームの設定位置によらず、最大音量にて放送されます。

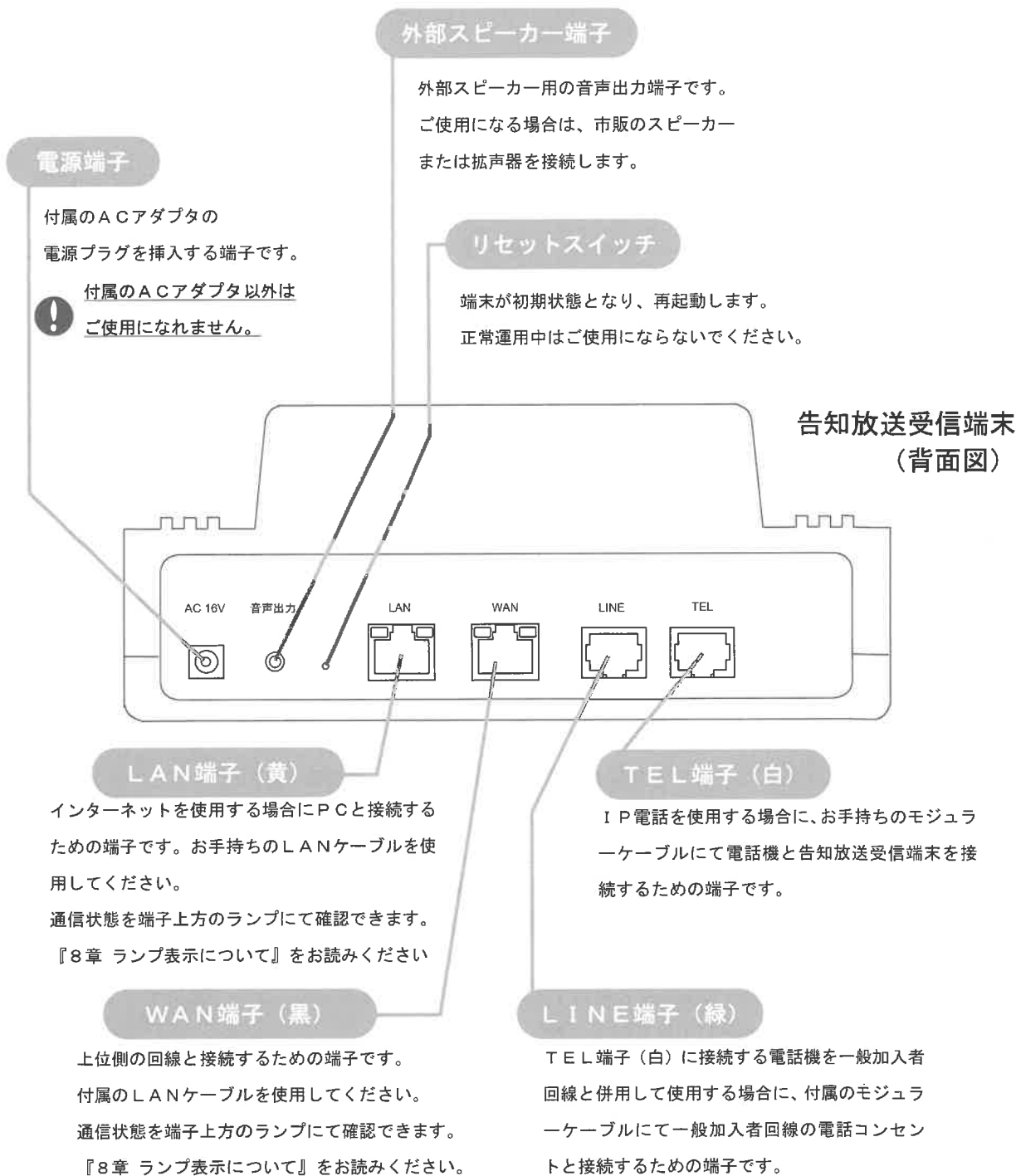
側面カバー

センター事業者の保守作業用です。

⚠ 開けないで下さい。

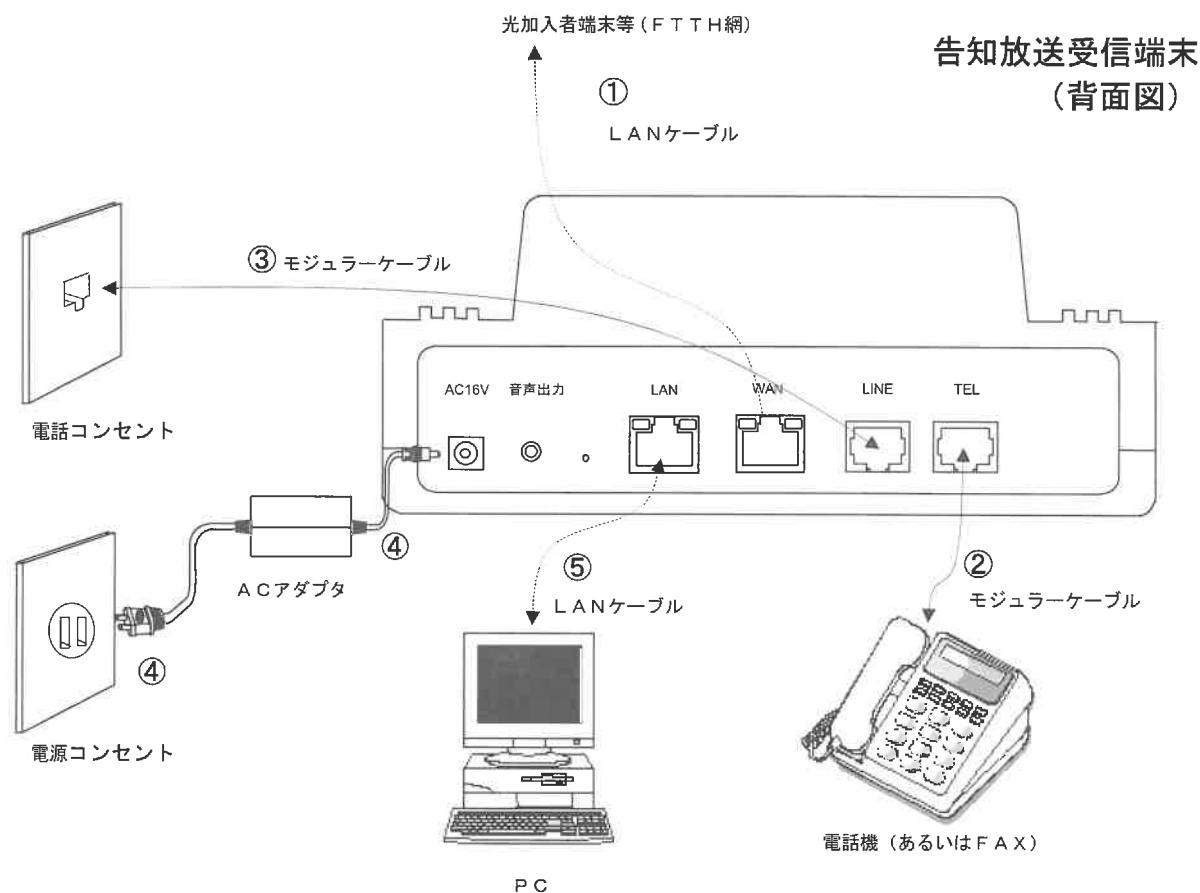
6章 各部のなまえとはたらき（背面）

ここでは、告知放送受信端末の背面の各部のなまえとはたらきを説明しています。各部の接続方法につきましては『7章 接続方法について』をお読みください。



7章 接続方法について

ここでは告知放送受信端末の接続方法について説明しています。



- ① 付属のLANケーブルを告知放送受信端末背面のWAN端子（黒）にしっかり挿入し、光加入者端末を介してFTTH網に接続します。
- ② IP電話/FAXをご使用になる場合は、お手持ちのモジュラーケーブルにてお手持ちの電話機/FAXとTEL端子（白）を接続します。
- ③ 電話機を一般加入者回線用と併用する場合は、付属のモジュラーケーブルにて電話コンセントとLINE端子（緑）を接続します。
- ④ 告知放送受信端末背面の電源端子（AC16V）に付属のACアダプタを挿入し、一方を電源コンセントに挿入します。

接続方法について

- ⑤インターネット等パソコン通信をご使用になる場合は、お手持ちのLANケーブルにて、お持ちのPCとLAN端子（黄）とを接続します。

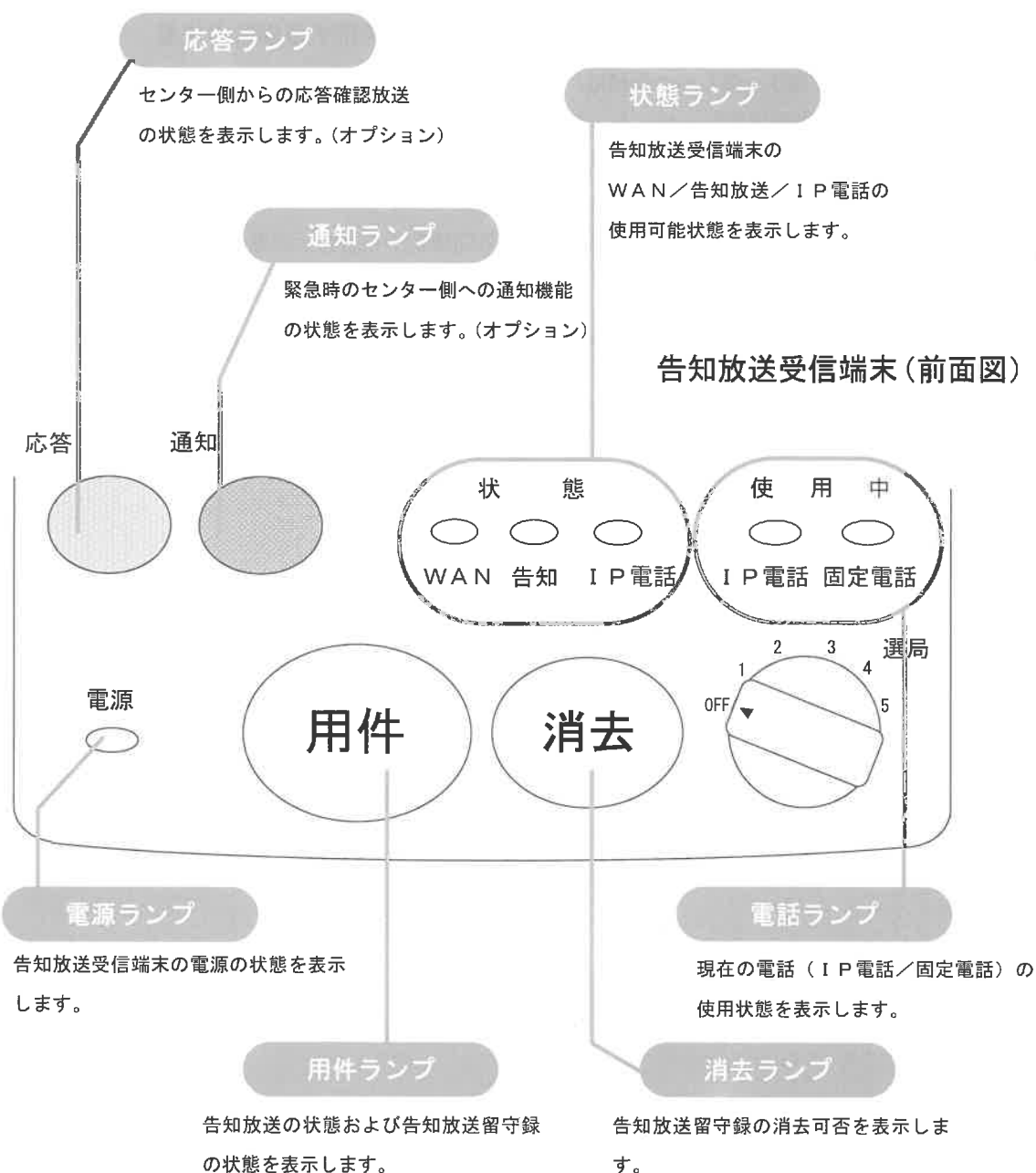


一般加入者回線と電話機を併用する場合の注意

- ・ LINE端子（緑）への接続は、NTT仕様の加入者回線をご使用ください。
- ・ 一般加入者回線がローゼット、3端子（または4端子）ジャックの場合は、最寄りのNTTもしくは工事業者に連絡し、モジュラージャックの取り付け工事を依頼するか、変換ケーブルにて接続してください。
- ・ 接続形態が不明な場合あるいは一般加入者回線とIP電話との発信時の選択番号等につきましてはセンター事業局に確認してください。

8章 ランプ表示について

ここでは、告知放送受信端末のランプ表示について説明しています。
告知放送受信端末には下記の7種類のランプがあります。



ランプ表示について

●電源ランプの点灯状態

告知放送受信端末の電源の状態を表示します。

電源が入っている状態では告知放送受信端末の電源ランプは緑点灯します。

端末状態	電源ランプ
電源が入っていない	消灯
電源が入っている	緑点灯



告知放送受信端末にA Cアダプタを挿入しても電源ランプが点灯しない場合には、ご加入のセンター事業局にご連絡ください。

ランプ表示について

●WANランプの点灯状態

告知放送受信端末の通信状態を表示します。

電源立ち上げ時から、使用可能状態までは下表のような表示となります。

端末状態	WANランプ
電源立ち上げ	消灯
設定ファイル取得中	緑点滅 (2.0秒点灯、2.0秒消灯)
告知放送受信端末 IPアドレス取得中	緑点滅 (0.5秒点灯、0.5秒消灯)
<u>使用可能</u>	<u>緑点灯</u>

WANランプが緑点灯となると、告知／IP電話の登録動作に移行します。

使用可能となるまで、数分かかる場合があります。

数分待ってもWANランプが緑点灯とならない場合には、『12章 故障と思われる前に』をお読みください。



ソフトウェアの更新中の注意

センター事業局のメンテナンスにおいて、告知放送受信端末のソフトウェアを更新する場合があります。回線ランプは、『緑点滅 (0.2秒点灯 0.2秒消灯)』表示となります。このような場合は、電源をOFFすることなく10分程度お待ちください。

ダウンロード終了後、自動でリセットがかかり、使用可能状態となります。

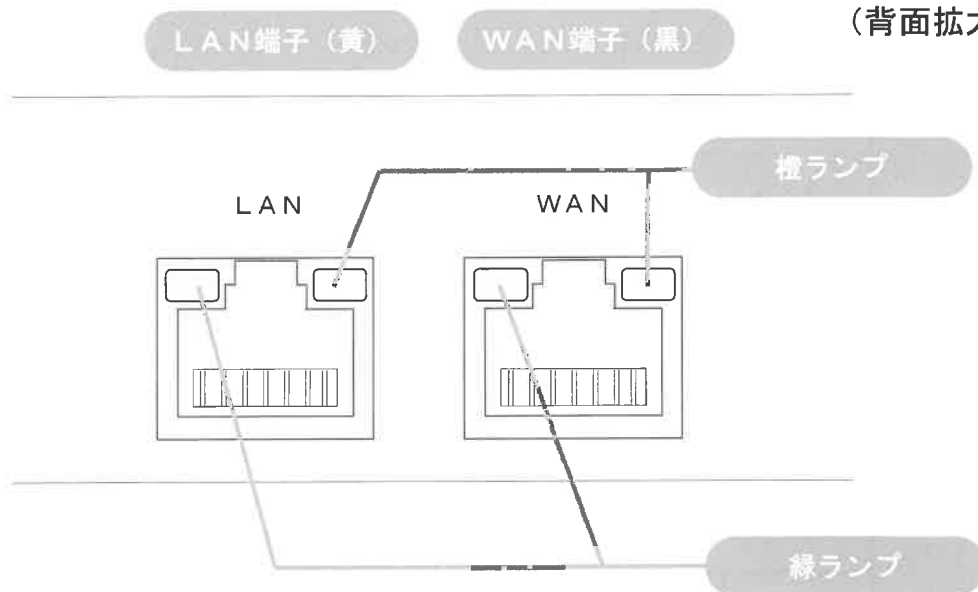
※告知放送／IP電話を使用している場合は、リセットがかかると放送断／通話断となります。お手数ですが、再度使用可能状態となってから留守録操作もしくはIP電話を使用してください。

ランプ表示について

●WAN端子／LAN端子のランプ点灯状態

告知放送受信端末の背面にあるWAN端子とLAN端子において、各端子上方にある2色（緑、橙）のランプにて、それぞれのリンク／データ通信状態を確認することができます。

告知放送受信端末
(背面拡大図)



WAN／LAN状態	緑ランプ	橙ランプ
未接続	消灯	消灯
10Mbps リンク確立	消灯	点灯
10Mbps データ通信中	消灯	点滅
100Mbps リンク確立	点灯	消灯
100Mbps データ通信中	点滅	消灯

ランプ表示について

●告知ランプ／IP電話(状態)ランプの点灯状態

告知放送受信端末の告知／IP電話の状態を表示します。

①告知ランプ

告知ランプが緑点灯となると、告知使用可能となります。

告知状態	告知ランプ
未使用 or 起動中	消灯
認証動作中	緑点滅 (0.5秒点灯、0.5秒消灯)
<u>使用可能</u>	<u>緑点灯</u>

②IP電話(状態)ランプ

IP電話(状態)ランプが緑点灯となると、IP電話使用可能となります。

IP電話状態	IP電話(状態)ランプ
未使用 or 起動中	消灯
認証動作中	緑点滅 (0.5秒点灯、0.5秒消灯)
<u>使用可能</u>	<u>緑点灯</u>

使用可能となるまで、数分かかる場合があります。

数分待っても告知／IP電話(状態)ランプが緑点灯とならない場合には、

『12章 故障と思われる前に』をお読みください。

ランプ表示について

●電話ランプの点灯状態

I P 電話(使用中)／固定電話の使用状態を表示します。

① I P 電話(使用中)ランプ

I P 電話通話中は緑点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)となります。

I P 電話使用状態	I P 電話(使用中)ランプ
未使用(受話器がおかれている状態)	消灯
ダイヤル中 呼び出し中	緑点灯
通話終了後(受話器が上がっている状態) 通話中	緑点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)

② 固定電話ランプ

固定電話は橙点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)となります。

固定電話使用状態	固定電話ランプ
未使用(受話器がおかれている状態)	消灯
ダイヤル中 呼び出し中	橙点灯
通話終了後(受話器が上がっている状態) 通話中	橙点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)

- ※ 固定電話を使用する場合は、LINE端子(緑)に一般加入者回線を接続してください。
- ※ I P 電話を使用できない場合には一般加入者回線に直結する場合があります。
- ※ I P 電話の番号、および固定電話とI P 電話との発信時の選択番号等につきましては、センター事業局に確認してください。

ランプ表示について

● 用件ランプの点灯状態

告知放送の状態、および告知放送留守録の状態を表示します。

用件ランプ	告知放送状態	留守録放送状態
消灯	未放送	留守録が無い状態
橙点滅 (0.2秒点灯、0.2秒消灯)	緊急告知放送が流れている状態	
緑点滅 (0.2秒点灯、0.2秒消灯)	通常告知放送が流れている状態	
赤・橙・緑点滅(各0.2秒)	応答確認放送が流れている状態	応答確認状態
橙点灯	未放送	緊急告知放送の留守録が一件以上ある状態
緑点灯	未放送	通常告知放送の留守録のみがある状態
橙点滅 (1.0秒点灯、1.0秒消灯)		緊急告知放送の留守録を流している状態
緑点滅 (1.0秒点灯、1.0秒消灯)		通常告知放送の留守録を流している状態

● 消去ランプの点灯状態

告知放送の留守録が消去可能な場合には橙点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)にて表示します。

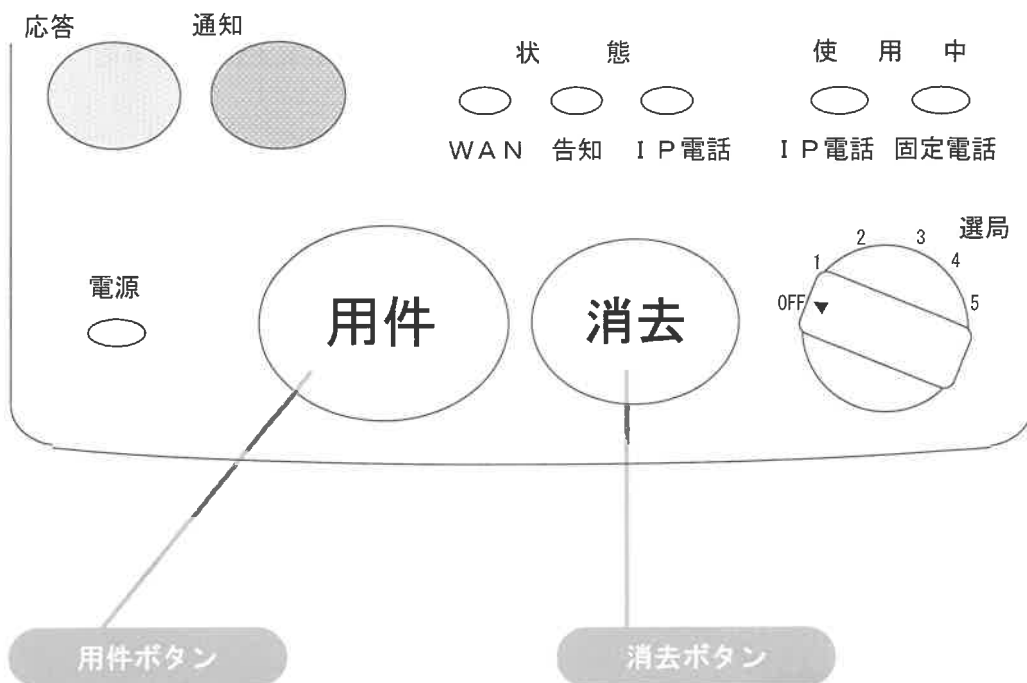
留守録放送状態	消去ランプ
留守録放送が消去不可	消灯
留守録放送が消去可能	橙点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)

告知放送の留守録を再生する場合、再生開始時より消去ランプが橙点滅しますが、用件/消去ボタンが押されて1秒間は用件/消去ボタンの入力を受け付けません。留守録を消去する場合には、数秒間待って、ゆっくりと消去ボタンを押してください。

9章 告知放送留守録操作について

ここでは告知放送留守録操作について説明しています。

告知放送受信端末（前面図）



告知放送留守録を再生する場合に使用します。

消去しない限り何度でも再生が可能です。

複数ある場合は、最新の告知放送留守録から順に再生します。

※告知放送中は再生ができません。

※留守録放送中にセンターからの告知放送が流れる場合は、途中で留守録放送を終了し、告知放送を優先して放送します。

※告知放送留守録を一度再生して、放送中に用件ボタンを押すと再生を停止します。

告知放送留守録を消去する場合に使用します。

告知放送留守録を一度再生して、放送中に消去ボタンを押すと消去できます。

※告知放送中は消去できません。

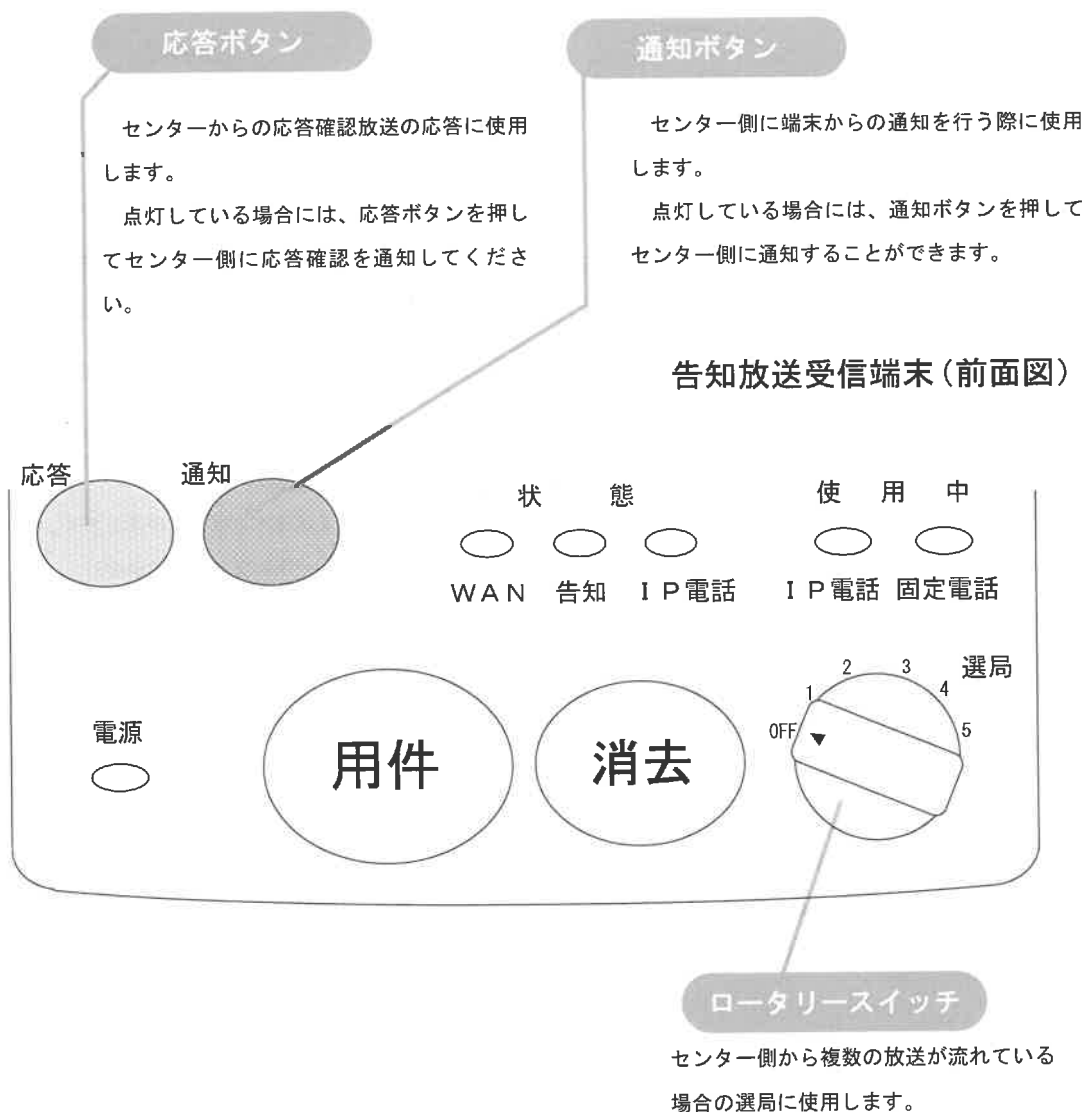
10章 その他の告知機能について（オプション）

ここでは、その他の告知機能（オプション）について説明しています。



これらの機能はセンター事業局が対応している場合のみ使用することが可能です。

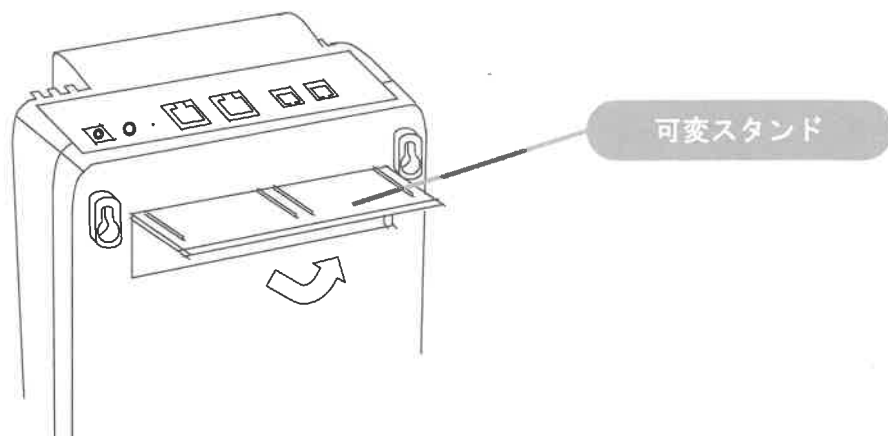
各機能の詳細に関しましては、センター事業局より配布された別紙をご参照ください。



11章 設置について

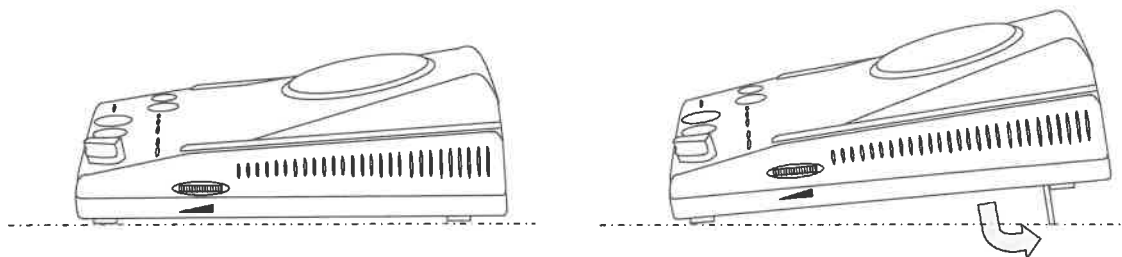
● 横置きする場合

告知放送受信端末を横置きする場合には、必ず水平な場所に設置してください。
告知放送受信端末の上には何も置かないように注意してください。



告知放送受信端末の裏面にある可変スタンドを利用することで、角度を変更することが可能です。

ボタンが操作し易い向き、放送が聞き取り易い向きにあわせてご使用ください。



可変スタンド使用時の注意

可変スタンドを使用する場合には、可変スタンドを完全に開いた状態でご使用ください。最後まで押し込むと可変スタンドは完全に開いた状態となります。

可変スタンドが完全に開いていない状態で使用されますと、告知放送受信端末の破損の原因になります。

設置について

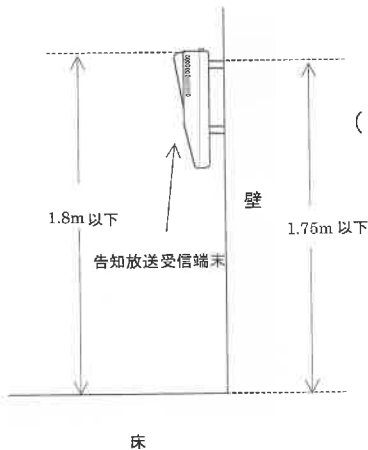
● 壁掛けする場合

ここでは、告知放送受信端末の壁掛け方法について説明します。

壁掛けを行う場合には、必ずセンター事業局もしくは工事業者に相談してください。



相談なくご自身で取り付けられた場合、壁の損傷あるいは装置の落下によるけが等の原因になります。



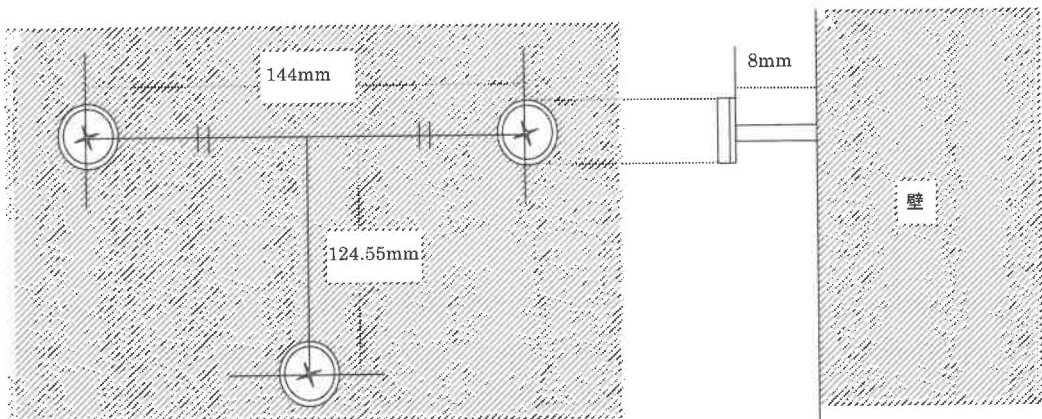
(1) 告知放送受信端末の取り付け位置は床から高さ1.8m以下、壁のネジ位置は床から高さ1.75m以下としてください。

1.8m以上となる場合は、装置のACアダプタが床置きできなくなります。

(2) 壁に付属のネジを設置します。ネジを下図のように壁に打ち込んでください。ネジ頭と壁の間には8mm程の隙間を残し、しっかりと固定してください。

※必ず付属のネジを使用してください。

付属のネジ以外をご使用になる場合、あるいは正しい位置にネジを取りつけないでご使用になる場合は、装置の破損や落下によるけがの原因となります。



ネジ穴位置の決定

巻末に、実際の寸法にて告知放送受信端末の背面図が記載してあります。ネジ穴の位置を決定する際に使用してください。

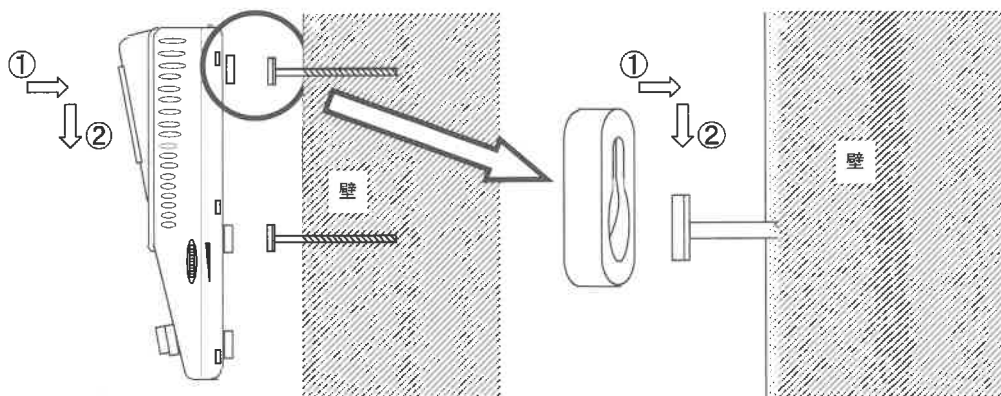
設置について

- (3) 告知放送受信端末の裏面の足（3箇所）をネジ頭に合わせて、壁に引っ掛けるように設置してください。

必ず、告知放送受信端末の裏面にある可変スタンドは畳んだ状態で壁掛けをしてください。

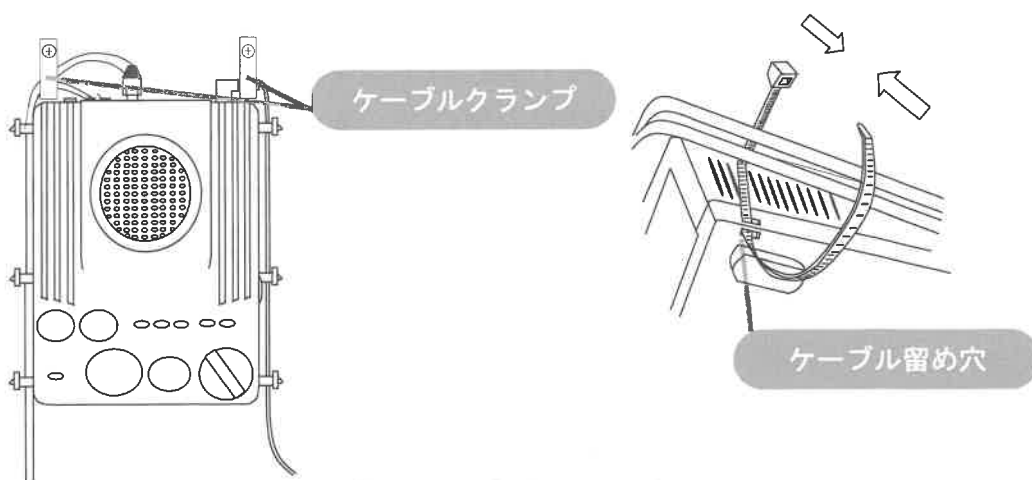


装置の破損や落下の原因になります。



- (4) 設置後は必ず、添付のケーブルクランプを告知放送受信端末の上部に添付のネジを使用して取り付けてください。ケーブル類をまとめるだけでなく、落下防止にもなります。

また、告知放送受信端末を壁掛けする場合には、両側面のケーブル留め穴（6箇所）を用いて市販のタイラップ等でケーブル類をまとめることができます。



必ず、上部に添付のケーブルクランプを使用してください。



また、告知放送受信端末の裏面にある可変スタンドは畳んだ状態で壁掛けをしてください。

12章 故障と思われる前に

故障と思われる前に下記の事項をご確認ください。

『8章 ランプ表示について』も必ずお読みください。

現象	告知放送受信端末の ランプ表示	確認項目	対策
起 動 し な い	電源ランプが点灯しない	ACアダプタが接続されていますか？	ACアダプタをコンセントおよび装置に正しく接続してください。
	電源ランプは点灯しているが WANランプが消灯のまま	WAN端子（黒）の上方にある 橙ランプ/緑ランプのどちら かが点灯していますか？	WAN端子（黒）にLANストレートケー ブルを正しく接続してください。正しく接続さ れている場合はしばらくお待ちください。
		センター事業局の回線に接続 されていますか？	センター事業局の回線に接続してください。 正しく接続されている場合は、センター事業 局の回線状況が悪い場合があります。センタ ー事業局にお問い合わせ下さい。
	電源ランプは点灯しているが WANランプが緑点滅のま ま。	WAN端子（黒）の上方にあ る橙ランプ/緑ランプのどち らかが点灯していますか？	WAN端子（黒）にLANストレートケー ブルを正しく接続してください。正しく接続さ れている場合はしばらくお待ちください。
		センター事業局の回線に接続 されていますか？	センター事業局の回線に接続してください。 正しく接続されている場合は、センター事業 局の回線状況が悪い場合があります。センタ ー事業局にお問い合わせ下さい。

故障と思われる前に

現象	告知放送受信端末の ランプ表示	確認項目	対策
告知放送 が使用 できない	告知ランプが緑点灯しない。	告知放送受信端末が正常に起動していますか？	告知放送は告知ランプが緑点灯にならないと使用することができません。しばらく待っても使用できない場合はセンター事業局にご連絡ください。
	用件ランプは緑点滅しているが告知放送が流れない。	音量ボリュームが最小となっていないですか？	音量ボリュームを調整してください。 外部スピーカーが使用されている場合は、スピーカーのインピーダンスを確認してください。
	用件ランプは橙点滅しているが告知放送が流れない。	しばらく待ってください。	しばらく待っても正常にならない場合は、センター事業局にお問い合わせください。
	留守録が聞こえない。	用件ランプが点灯していますか？	留守録を聞くためには、用件ランプが点灯している必要があります。
	用件ランプが点灯して、留守録があるが、再生ボタンを押しても音声聞こえない。	音量ボリュームが最小となっていないですか？	音量ボリュームを調整してください。 外部スピーカーが使用されている場合は、スピーカーのインピーダンスを確認してください。

故障と思われる前に

現象	告知放送受信端末のランプ表示	確認項目	対策
電話が使用できない	受話器をあげても電話ランプが点灯しない。	モジュラーケーブルを正しく接続していますか？	モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	電話をかけてもビジー音となる。	IP電話と固定電話の選択番号を誤っていませんか？	正しく選択番号を押してください。
	IP電話(状態)ランプが緑点灯していない。	告知放送受信端末が正常に起動していますか？	IP電話はIP電話(状態)ランプが緑点灯にならないと使用することができません。しばらく待っても使用できない場合はセンター事業局にご連絡ください。
	ランプはすべて正常。 (IP電話が使用できない)	ビジー音となっていませんか？	3秒間以上受話器を置いた後に確認してください。それでも使用できない場合はセンター事業局にご連絡ください。
	ランプはすべて正常。 (一般加入者回線に接続できない)	電話機のダイヤル形式が一般加入者回線の契約と合っていますか？	電話機の取扱説明書をよくお読みの上、ご契約に合ったダイヤル形式(固定)に設定してください。
モジュラーケーブルが正しく接続されていますか？ビジー音となっていませんか？		モジュラーケーブルを正しく接続してください。正しい場合は、受話器を3秒間以上置いた後に確認してください。 それでも使用できない場合はセンター事業局にご連絡ください。	

故障と思われる前に

現象	告知放送受信端末のランプ表示	確認項目	対策
P C が 使 用 で き な い	PCがリンクしない。	LAN端子(黄)の上方にある 橙ランプ/緑ランプのどちらか 点灯していますか？	PCとの接続を正しく行ってください。 (正しく行われている場合にはLANケーブルの種類等を確認してください。)
	状態(WAN)ランプが使用 可能表示ではない。(8章参 照)	センター事業局との間で起動 処理を行っています。	そのままお待ちください。
	ソフトウェアダウンロード ／更新中のランプ状態。(8 章参照)	告知放送受信端末のソフトウ ェアをダウンロード中です。	電源をOFFせず、10分程度お待ちくださ い。
	ランプ状態は正常。	PCの設定が正しく行われて いますか？	PCの通信設定を正しく行ってください。

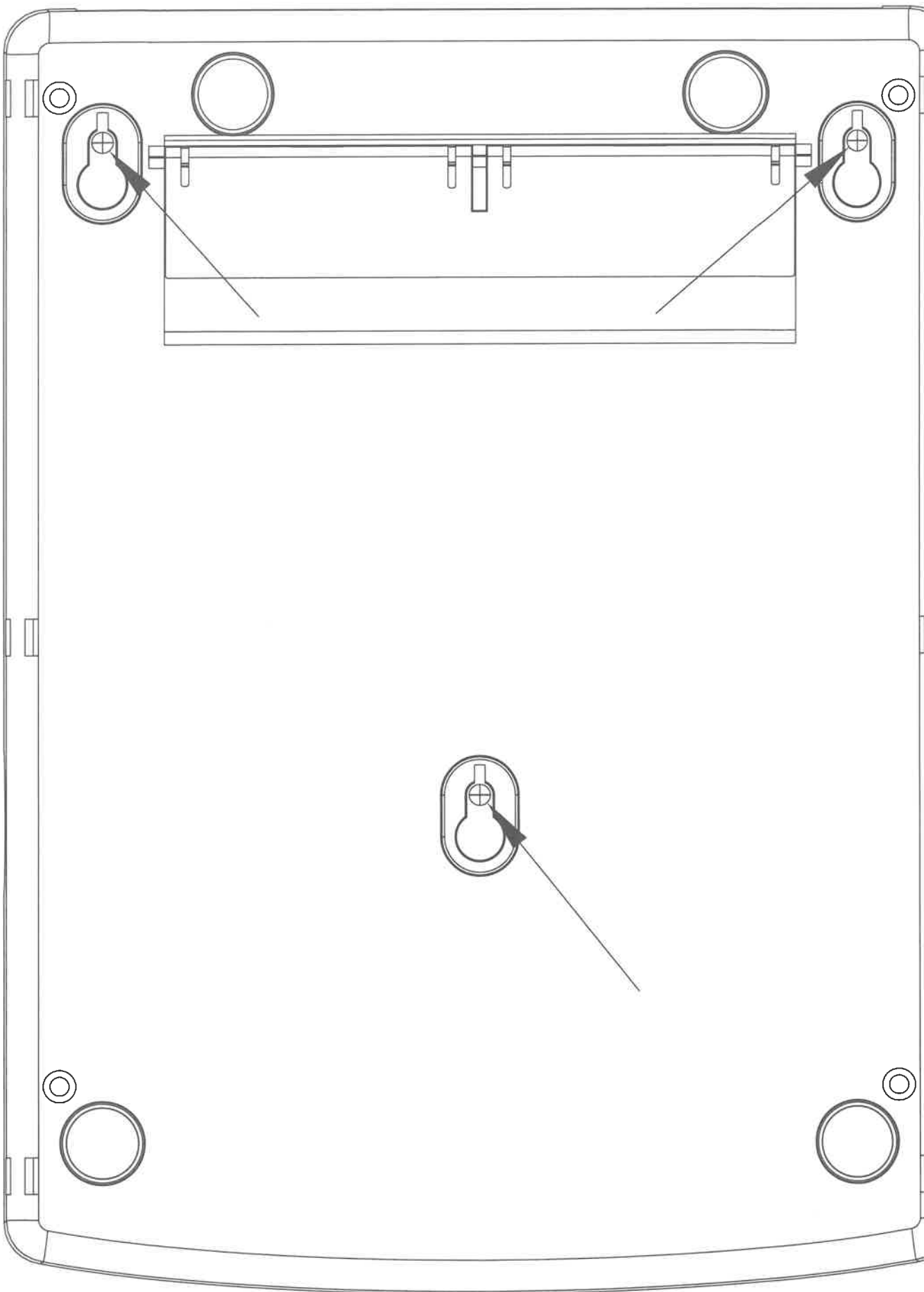


上記対策を行っても使用可能とならない場合には、告知放送受信端末の電源を再投入するか、背面のリセットスイッチを6秒以上長押しして、リセットさせてから、しばらくお待ちください。

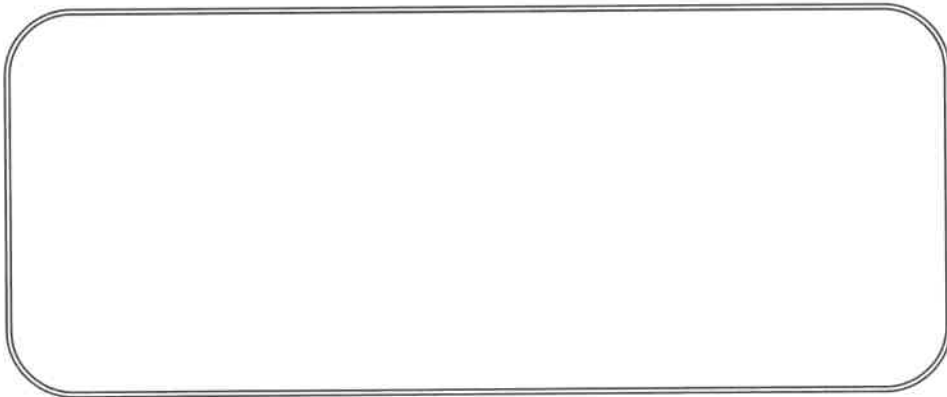
しばらく待っても使用できない場合は、各ランプの状態を控えて、センター事業局にご連絡ください。

仕様

型名	CM7550TN
電源	AC90V～110V 50Hz／60Hz
消費電力	AC100V 最大23VA以下 (AC16V 1.0A以下)
使用温度	0～40℃
使用湿度	20～85% (ただし結露しないこと)
機能	告知放送機能／IP電話機能／インターネット機能
LAN端子 (黄)	RJ-45端子
WAN端子 (黒)	RJ-45端子
TEL端子 (白)	600Ω／RJ-11端子
LINE端子 (緑)	600Ω／RJ-11端子
外部スピーカー出力	1.0W／8Ω (モノラル出力)
外形寸法	本体 (幅) 約180× (奥行き) 約245× (高さ) 約70mm ※突起物 (ゴム足) を除く
質量	本体 約 0.8kg ACアダプタ 約 0.6kg



センター事業局の連絡先



お客さまへ…ご購入時に必ずセンター事業局担当者に上記を記入してもらってください。

